

令和7年7月7日

市民図書館開館30周年



伊万里をつくり
市民とともにそだつ
市民の図書館

市民図書館のあゆみ



平成7年7月7日

伊万里市民図書館落成式

落成式のテープカット↓



平成7年10月

『図書館フレンズいまり』
発足

平成8年7月

第1回としよかん☆まつり
(以降、毎年開催)

自転車紙芝居の様子↓



平成9年5月

貸出100万冊を達成

これからも市民の風が吹き続けるために

『図書館は帆 市民は風』

30周年を迎えて

伊万里市民図書館は、令和7年7月7日で、開館30周年を迎えます。

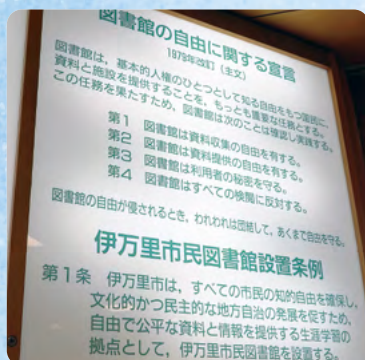
私たちは『伊万里をつくり市民とともにぞらう 市民の図書館』を旗印に掲げ、図書館サービスを行ってきました。

皆さんの暮らしに役立つこと、子どもと本の出会いをサポートすること、さまざまな情報提供を行うことなど、図書館の使命と役割は、ますます大きくなってきています。

また『図書館フレンズいまり』をはじめとする、市民ボランティアと協力して歩んできた市民図書館は『市民協働』の図書館として、全国的に高い評価を受けています。

30周年目は、次のステージへの再出発の年です。新しい時代にふさわしい第一歩が、いよいよ始まります。

私たちの図書館



図書館の入口に掲示されている看板（写真右）を見たことがありますが、ここには、市民図書館設置条例の第1条である、市民図書館が設置された目的や、社会的な役割が示されています。人は、知識と情報を得ることによって成長し、生活しています。また、心豊かで文化的な潤いのある生活を送ることは、すべての市民に与えられた権利です。

市民図書館は、皆さんの役に立ち、暮らしに根差した文化を育んでいくために、この案文を大切にしています。

市民協働の図書館

市民図書館と市民の関係は『図書館は帆 市民は風』という言葉に例えることができます。

市民図書館は、文化行政という名の船の『帆』です。

市民は、力と方向性を足して、絶えず『風』を送り続けています。その帆風を受け、市民図書館は、勢いよく航行しています。

その中でも、力強い風を送り続けている応援団『図書館フレンズいまり』は、市民図書館の航行に欠かせない存在です。『図書館のよき友』として、市民図書館とともに守り育てる多種多様な活動をしています。

人生に寄り添う図書館

ブックスタートに来た赤ちゃんとお母さん・お父さんや、進路に悩む中高生、ビジネスや趣味に図書館を利用する人など、さまざまな人が、思い思いの使い方方で『豊かなひとときを過ごすこと』『本を通して新たな世界との出会いがあること』これらはすべて、市民図書館だからこそできることです。

図書館は、人生のさまざまな節目で、そのときの状況にあった『本』と『場所』を用意しています。このことが『人生に寄り添う図書館』です。



市民図書館
開館 30 周年
キャラクター
『ふくまる』

平成13年6月

『いすの木合唱団』誕生

コンサートで合唱する皆さん↓



平成14年4月

文部科学大臣表彰『子ども読書活動優秀実践図書館』

平成16年7月

『ブックスタート』開始

『ブックスタート』に訪れたお母さんと赤ちゃん↓



平成17年2月

貸出500万冊達成

500万冊目を借りた親子の記念写真↓



平成17年7月

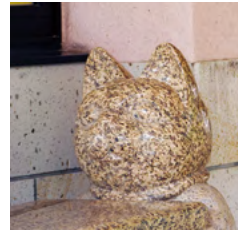
開館10周年記念 図書館伊万里塾を開催(全6回)



あ
たたく



心
しずか



市民図書館の新しい挑戦！

カーボン・ニュートラル・ライブラリー



世界中の図書館員が大切にしている『図書館は成長する有機体である』という言葉があります。蔵書やサービス、職員が常に進化し続けなければ、図書館は衰退してしまうため、活気に満ちて常に進化していくことが重要であるという考え方です。

開館してこれまでの間、毎週、本を購入することで、新鮮な蔵書の構成を保ってきました。また、施設の整備や管理システムの更新などにも取り組んできました。

そして、開館 30 周年の節目を迎えたいま、これからの時代に求められる図書館のあり方を考えた結果、今後は『カーボン・ニュートラル・ライブラリー（以下、CNL という。）』として、施設やサービスを改善していきます。CNL が完成すれば、子どもたちの体験学習の充実や脱炭素社会の構築、皆さんが希望を持って暮らせる『未来につながる持続可能都市』が実現できるでしょう。

今後、市民図書館は、数年をかけて環境関連の資料を充実させるほか、太陽光発電設備や発電量確認モニターの設置、最新のデジタル映像技術、自然の植栽などを活用し『あたたかく 心しずかで つながりあえる場』として、皆さんとともに進化していきます。



全国初！

C N L

カーボン・ニュートラル・ライブラリーって？
これまでの『図書館の機能』と『環境について学ぶことができる設備や機能』を兼ね備えた図書館です。

図書館の機能 + 環境関連の資料充実 + 再生可能エネルギー など

※写真の中には CNL のイメージ画像が含まれます。



平成 28 年 8 月
片山 善博 名誉館長就任

平成 27 年 9 月
開館 20 周年記念 図書館
伊万里塾を開催（全 6 回）

平成 26 年 11 月
貸出 1000 万冊達成

平成 26 年 10 月
第 100 回全国図書館大
会で『図書館フレンズい
まり』に感謝状贈呈

平成 21 年
新ぶつくん 1 号 出発式



平成 19 年 6 月
黒川町をモデルに
『家読』スタート



1

7月4日(金)
19:00 ~ 20:00

ほし
☆まつりイベント
かたろう!これからのライブラリ

小田 光宏
(青山学院大学教授)
大谷 康晴
(青山学院大学教授)



30 周年記念

『図書館伊万里塾』

主催 伊万里市民図書館
共催 図書館フレンズいまり
会場 市民図書館 ホール

※詳細はホームページで確認してください。

2

8月31日(日)
14:00 ~ 15:30

経験ゼロからのオヤジの挑戦!
『ラ・カンパネラ』

徳永 義昭(海苔漁師ピアニスト)
・映画『ら・かんぱねら』のモデル



3

9月13日(土)
14:00 ~ 15:30

読書で広がる世界

小野 正嗣
(小説家、早稲田大学教授)
・芥川賞作家、NHK 日曜美術館 前司会者



4

11月8日(土)
14:00 ~ 15:30

朗読はたのしい!
~心も体も目覚める魔法~

山田 敦子
(元 NHK アナウンサー)
・『小さな旅』やナレーションで多数出演



5

12月6日(土)
14:00 ~ 15:30

『ブックスタート』20 周年記念事業
絵本と鳥の巣のふしぎ

鈴木 まもる
(絵本作家、鳥の巣研究家)



図書館 からの 声



図書館フレンズいまり 代表
柳澤 美佐子



市民図書館 統括管理者
鴻上 哲也

市民図書館は、開館 30 周年を迎え、CNL という大きなプロジェクトが動き出しています。私たちフレンズは、この大きなプロジェクトはもちろんのこと、図書館の小さな悩みについても『協力と提言』を続け、図書館がより良い『風』をつかむことができるよう活動しています。これからも、フレンズは、新しい変革の流れに対応しながら、図書館とともに歩んでいきます。図書館は、皆さんが利用してこそ成長することができます。ぜひ、気軽に図書館を訪れて利用してみましょう。

一般的に、図書館を構成する三要素は『一に資料、二に職員、三に施設』といわれます。しかし、市民図書館は、もう一つ『市民』を加えた四要素で成り立っているところが特色で、このことが、いまなお、全国から視察が絶えない理由です。3 ページに、図書館を船の『帆』、市民を『風』に例えた絵を掲載しています。開館 30 年を経過して迎えるこれからの時代に、皆さんはどのような風を吹かせて『図書館号』を走らせようとするのでしょうか。これから、市民図書館の新たな航海が始まります。



姜尚中さん
講演会↓



令和 7 年 7 月 7 日
開館 30 周年

令和 6 年 10 月
空調設備更新

令和 4 年 12 月
ミニトカレッジ「森羅万象物語」講演会(全 3 回)

令和 3 年 2 月
「ブックスタート事業」におけるガバメントクラウドファンディング募集開始

令和 2 年 4 月
緊急事態宣言発出による臨時休館



平成 29 年 2 月
新ぶつくん 2 号 出発式

受賞の盾と賞状↓



平成 28 年 11 月
第 18 回 図書館総合展において「図書館フレンズいまり」が Library of the year 2016 ライブラリアンシップ賞受賞